



壮快な五月の風が街を吹き抜け、苗代の稲は秋の稔りに向って、勢力的に成長しつづけております。校友各位には御気嫌良く、日々御仕事に精励せられておられることと、お慶び申し上げます。我が早稲田大学は九五年を迎え、百年祭の式典準備も着々と進められている由を聞いております。ここ国分寺校友会も創立以来五周年を迎え、第五回総会を次の如く開催致しますので、万障御繰合せの上、是非共御出席頂きますよう御願ひ申し上げます。

式次第

第一部 総会 三・〇〇

議長 選出

会務及び会計報告

役員 改選

第二部 記念講演 三・三〇

早稲田大学総長 村井資長 先生

早稲田大学校友会常任幹事

野島寿平 氏

第三部 懇親会 五・〇〇

早稲田大学国分寺校友会

創立五周年記念総会

日 時 昭和五二年五月二一日（土曜日）

午後三時 開会

場 所 国分寺パークレイン 一階集合室

TEL 〇四二三(二)三二三一

懇親会費 三、五〇〇円

年会費 一、五〇〇円

記念講演 早稲田大学総長 村井資長先生他

既に御承知の如く、村井総長は昨年来健康が勝れず、夜の外出を医師から止められておいでです。が、本会のため押して御出席下さいました。

なお、名簿を完璧にして新しく発行致しますので、同封ハガキ、御出席如何にかかわらず、五月一四日までには必ずお出し下さいますようお願い申し上げます。

新名簿は当日会場にてお渡し致します。また、当日御都合悪しく御出席頂けません方には郵送致します。

昭和五十一年度 秋の叙勲

中藤俊一会長に

勲五等瑞宝章

早稲田大学国分寺校友会々々・中藤俊一氏に、昭和五十一年度、秋の叙勲で、勲五等瑞宝章が授与されました。氏は、永年東京都下における農業の振興に尽力され、その成果を大いに挙げられたことに対しての功績に報われての叙勲でした。

私共にとっては、会長として常々あの温厚なお人柄に接しており、会長のお喜びを共に喜びたいと、一月の末、農協役員室におたづねして、お多忙の中の一刻、お話を伺いました。校友諸兄弟にも、中藤会長の別の一面をお伝え致し度いと存じます。

なお、叙勲祝賀会は二月八日、新宿、京王プラザホテルに於いて行われ、会よりは梅田幹事長、恒任幹事がお祝いに列席致しました。

また、昨年末の忘年会には、その席を借りて、会として心ばかりの花束をお送りしてお祝い致しました。

(広報部・須田)

×お目出とうございます。校友会の一員としてお喜び申し上げます。

○ありがとうございます。いつも役員の方にはお世話になって

しまして、何もお役に立てず申し訳ない。

×会長は大変ご多忙でいらっしゃるので、ご無理をなさ

らなくても普段は私たちがやっております。それに

しても、会長は現在いくつ位のお役職に關係してお

れますか。

○まあ、当国分寺市農業協同組合、組合長のほかに

国分寺市農業委員会 会長

農業保険協会 理事

東京都農業信用基金協会 会長

生活協同組合多摩相互病院 組合長

東京都独活生産組合連合会 会長

東京都農業会議 副会長

多摩納税貯蓄組合連合会 副会長

東京都蓄産会 理事

国分寺納税貯蓄組合連合会 会長

明治神宮崇敬会 理事 国分寺支部長

というところですね。

×そんなに活躍なされているのでは大変ですね。校友

会の方は若い者が張り切って務めさせて頂きますので

方向を間違わぬようご監視頂くようお願い致します。

ところで、最近越して参りました私共としては、

寺市内に、いわゆる農業用地というものはどの位あるのでしょうか。

○そうですね。大体三五〇ヘクタール位かな、もとも

ては農業用地といっても、大部分が植木を作る人で、

蔬菜類の生産は少なくなっているね。都市の中の農地

というものはどんどん宅地化されてしまっていて、ここ

に限らず周辺の市も同じようになってしまっているがね。

×会長は恰幅がおよろしいですが、学生時代には何かス

ポーツをなさいましたか。

○いや、私は学生時代は身体が弱くてね。なんにもし

ませんでした。現在、健康法としてはゴルフをやってい

ますが、これは、もう一〇年のキャリアがあるんだが、

なかなかうまくならなくてね、ハンデは三〇位かな、

八王子のG・M・Gに入っているんだが、遠くてね。

時々小金井あたりにも顔を出しています。校友会で

コンペでもつくってさそい出してくれると有難いんだ

が、もっともなかなか暇がなくて、折角、さそって下

さってもきちんと参加出来るかどうかともわかりませ

んよ。いろいろと校友会としても親睦を計る企画をた

て、和気あいあいと楽しい集いが数多く持てるよう考

えて下さい。

×有難うございます。五年目を迎え、会の内容をもっと

皆さんにご理解頂いて、今後とも円満な発達をするよ

うご協力を頂く努力を致します。



座談会

国分寺わが町（I）

谷田成雄・林久仁於・田中康義
堀田博靖・村山公三・須田茂雄

二月の金曜サロンの席上、これからの景気動向について話がはずみました。そこで国分寺市内にお店を持つ校友の座談会を開いて、赤裸々な現在の景気を話し合ってもらう予定で、斎藤運動具店（斎藤貫二氏・S17商）、大黒湯（田中康義氏・S35政）、比留間生花店（比留間義秀氏・S43演）、パークレーン（林久仁於氏・S33政）、多摩中央信用金庫（堀田博靖氏・S44商）、太陽土地（岡部誠一氏・S28商）、西和うどん（谷田成雄氏・S31経）、若月建築事務所（若月啓功氏・S34建築）にお集りをお願いしたのですが、準備期間が短かったこともあり、御出席頂いたのは田中、林、堀田、谷田の四方でした。纏め役を村山公三顧問（S7商・前東洋経済新報社社長）をお願いして、話を進めて頂きました。当初の予定とは少々離れてしまいましたが、国分寺市のこれからのあり方について活発なお話を聞けました。これを緒論として、後日又話し合いの席をもうけてよりよい町づくりの何等かの手掛りとなればと考えています。

3月17日 於 西和うどん店

国分寺駅中心の商店街

須田 日本はお忙しいところをお集り頂きました。他の方々も急なことなのでいろいろのご事情もあって私たち六名だけですが、ざつとくばらんに国分寺市についてお願い致します。先づ国分寺駅中心の商店街の歴史について田中さんから。

田中 昭和二五、六年位までは、国分寺の商店街というのは、駅の北口通りを北に向って本多の交差点までの表通りだけでして、それも大体駅寄り、その間に映画館が一軒と浴場が一軒というわけで、そこを中心に人が集っていた。ですからその商店の通りをちよつと裏へ入りますと、もう林や畑という状態でした。それが、戦後東京都心が復興しまして通勤圏がだんだん広くなり、それに伴って、人口が次第に増えて参りました。特に三八年頃に駅の西側に「オリンピック」が出来、四三年には東側に「長崎屋」「西友ストア」が出来まして、急速に駅前が発展しました。ま、その前に駅から一〇〇米位のところに国分寺百貨店というのができましたが、この大型スーパーが出来たことにより、当初人の流れが南北であったものが、東西へと変って参りました。

須田 駅の南側の発達はいつ頃からですか。田中 国分寺に南口改札が出来ましたが、昭和三年の一月で、その六、七年後に丁度駅の南西のところにありました。元の第一小学校を町が競売致しまして、その金で現在の七小と二中を建てたわけですが、いわゆる線路の南側というところは、私の子供の時分には、まだ野鬼の出る腕白坊主の格構な遊び場でした。従って、市制施

行後からです。村山 国分寺市の人口の推移はどうなっていますか。谷田 そうですね、国分寺が市になったのが三九年一月ですか、ですからその時が五万人ということですが、四二年が六万七千、四七年が八万、そして現在が八万九千位ですから、四〇年から四七年位までは急速に人口が増加し、それから大体漸増ということでしょう。村山 まだ国分寺には人口の増える余地はあるんですか。田中 ありますね。どちらかというと西の方にはまだあります。しかし地価が大分高いということもあって伸びなやみということでしょう。

須田 私は引越して来て二〇年位になるんですが、その当時は、都心に近い武蔵境あたりの方が安かったと思いますが。林 そうですね、現在でもまだそういう傾向がありますよ。太陽土地の岡部さんがいらっしゃれば、いろいろ聞けるんですがね。村山 この町には金融機関というものは、どの位あるんですか。堀田 現在では九つですか。出来た順ですと三菱、うち（多摩信）、大東信金、東京信組、山梨中央、北海道拓殖、第一勧銀、日本信託、第一相互。それに農協と郵便局を加えると一です。村山 多摩信さんとしては、どうでしょう。国分寺市の富の蓄積ということでは、こうして人口が増えるということは、地主が土地を売った代金を積立てるといふ意味で。堀田 そうです。ここに多摩信を造りました当時、二八年頃はそれも目的の一つでして、いわゆる一本釣りと呼びまして、地主が土地

行後からです。村山 国分寺市の人口の推移はどうなっていますか。谷田 そうですね、国分寺が市になったのが三九年一月ですか、ですからその時が五万人ということですが、四二年が六万七千、四七年が八万、そして現在が八万九千位ですから、四〇年から四七年位までは急速に人口が増加し、それから大体漸増ということでしょう。村山 まだ国分寺には人口の増える余地はあるんですか。田中 ありますね。どちらかというと西の方にはまだあります。しかし地価が大分高いということもあって伸びなやみということでしょう。

を手放したということを開きますと、高ぐに預金のお願いに出掛けたという話を聞いております。それはこの附近、府中や小金井などもそうでしたが、後でそのことが私のところでも良い教訓となったわけです。土地というのは、一度手放すと再生産が出来ないものですから、そのブームが過ぎてしまうと困ってしまうのです。そこで結局はその町が発展しないと、自分の方も行きづまってしまうという事になり、町の発展に協力しなければという方針を強く打ち出したわけですね。そこで、そのためには、町の特性や将来性についていろいろの調査をしなければなりません。ところがこの多摩地区というところは、この地域独自の新聞とか、報道、調査機関というものがありません。そこで、私のところ独自のいろいろの機関にご協力頂きまして、皆さんのお手元にお配りした資料（「住民の買物動向と商店街の現況」「多摩の中小工業」「多摩中小企業景況速報」「多摩のあゆみ」）を作ったのです。これは金融機関に限らず、いろいろ知りたいことがある筈で、その意味でも役に立つと思います。ですから、こういう資料からでも周辺の市との関係から国分寺市の行き方も考えられるかと思えます。

林 〓 それに、ちよつと前までは、土地に長く住みついた商店です。競争心もなく、どうせ買廻り品だけで、大きな買物は立川や吉祥寺、新宿へ行かれてしまうんだという気でしょう。店の作りも田舎っぽかったですね。

須田 〓 ところで林さん、この前の金曜サロンの時にお話をお伺いした、レジャー産業から見た現在の町の消費ムードとでもいいますかもう一度。

林 〓 あの件が参考になるかどうかですが、私のところ、昨年の一ヶ月には千円札の

ツリ銭が無くなって困ったものから、今年は去年の例にこりて、千円札を両替しておいたのです。ところが三ヶ日を終わってみると千円札がうんとある。そして売上げ額は去年に比べて三〇パーセント増なのです。ましてコインのゲームは相当に売上増でした。このことは、去年まではまだ石油ショック以来不景気になったといっても、まだ一万円札を持って遊びに来てくれたのが、今年は万円券では遊ばない。千円札なら遊ぶということ、遠出して派手に使っていたものが、ボーリングあたりでお茶をにごすという、儉約ムードといえますか、消費控えムードがあるんじゃないかと思えます。

村山 〓 そうですよ。消費に対して、相当、敏感に反応を示すようになって来ました。国際関係からも、円高の為替相場等から、もう高度成長の夢は遠い昔の話になりましたから。でも、まあ、このような時期にも、なお、相当の業績をあげている企業も多くあるんです。先程の堀田さんのお話のように、研究してみれば、まだまだ悲感するには当たらないといふことですね。

夢をもとう 国分寺市の将来

須田 〓 最初の計画では、もう少し町の経済の現況を分析したかったのですが、あまり景気の良い話にもなりそうもありません。そこでこの国分寺市は一体、将来、どう発展するんだらうか、ということと話合ってみてほしいです。林さんどうですか。

林 〓 私はいろいろの会で市長とも同席させて頂くんですが、市長は目下のところ、税収は延びないのに、下水道、学校建設、崖崩れ対策等に市

らつしやるようです。それもわかるんですが例えば、中央線三寺駅といいますが、高円寺吉祥寺それと国分寺と寺のついた三つの駅ですが、この中で西武線が入ってターミナル駅として一番古い国分寺駅が取り残されてしまっている。条件としては吉祥寺なども南側は井の頭公園で、こちらも国分寺という史跡をもっている。それなのに今では雲泥の差が出来てしまった。その大きな原因は道路整備と、住民意識の問題だと思います。兎に角北口は混雑してバスもスムーズには通れない。そのために、小平地区の人々も、近い国分寺よりも、バスで行ける小金井へみんな持って行かれてしまっている。

田中 〓 あれば、前からあの通りを都市改造で広くしようという話があったんです。たしか市議会でも承認されているでしょう。だけれど、各個には表通りの店を簡単には手離してくれないということで、地主あたりとの折衝で結局、うやむやになってしまっている。林 〓 そこで私のところの東側のところ、丁度表通りの直ぐ次の細い道を一〇米に広げるといふことですが、それもなかなか手がつかない。ですから、ご存知のように、あの通りには小さな飲み屋さんを軒を連ねていて、本建

築は出来ないことになっている。三巻銀行あたりも、その時のために、裏側はすぐ取壊せるように建ててあるんです。吉祥寺もデパート進出の当時は反対が大分あったようですが、あの様に駅から少し離れて現在では三軒ですが、ある。車は両側の通りしか走れないようにして、中心部はアーケードを作って結構一般の店も利益になっている。国分寺も条件さえ整えば、あれに近いものは出来るんじゃないんですか。南側には殿ヶ谷公園も出来

須田 〓 立川の基地跡の利用が本腰になって来たましたが、そのことは国分寺にどう影響しますか。考えているんでしょうか。

林 〓 市長は、立川が副々都心のようにになると都心との往来で自動車の交通量は増えるし、居住人口も増加するとなれば、それに伴って諸施設も増やさなければならぬ。利益よりも被害の方が大きいかも知れないとお考えのようです。最近では違反建築が増えて、緑がだんだんと少くなる等々大へんです。

村山 〓 塩谷市長も市政が周囲に影響されて来ますのでそれに対応するご苦心があるわけですから。前向きに対処され、良い町作りに頑張ってもらいたいものです。

須田 〓 たしか、前に市長室にお伺いした時、国分寺駅ビルのモデルがあったと思うんですが。

田中 〓 ええありました。あれは国鉄の関係者の方に将来あの場所を駅ビルとして使用させてもらうにはという事で市から依頼して設計してもらったもので、現在のように南口と北口との交通が非常に不便ですが、これをなくすために、駅ビルを建てて、ということらしいです。

須田 〓 本当に北口はなんとかなりませんか。

田中 〓 ちよつと手をつければ良くなる筈です。国分寺はもう貨物駅ではないので、現在の日本通運のところも使っていないのでしよう。又、前の競馬場への線も使わないのですからこのあたりを整理して、中央に駅ビルでも建てて、現在の茨山線も少し廻して乗り入れれば、両側に相当広い駅前広場が出来ますよ。林 〓 そうですよ。南口は高台になっていて思っている方もありますが、北口へ降りるあのだから坂の上と結ばば平らです。あれは国鉄が掘り下げたんだから。

谷田君それと国分寺にはあまり税金にならない研究所が大きな場所を占めています。これなども、少し考えて頂ければと思います。日立の研究所なども場所的にも良いところですし、中もなかなか立派な庭園になっておりまして、開放して、市民の憩いの場にも使わせて頂けたら有難いですし、国鉄の研究所もあんな大きな土地を持っていて、利用させてもらえるとところもあるんじゃないですか。それと国鉄の研究所の向い側の郵政省の住宅ですか、あれも何かもったいない気もして、何とかならないのかと通りがあったときに思います。駅の南側の都の住宅なども良い場所にあるので、何か人様のお住いになっていくところを申し訳ないことですが、市の美化のための計画に協力頂けたらな。

村山君国鉄あたりも赤字を埋める合理化の一助として不用地を処分するそうですから、交渉の余地はありそうですね。そして立川より先に何とか、立派な都市づくりをして、対策しなければ。

谷田君そうですね。警察にしたって、保健所林田中さん。たしか消防署は北多摩中央消防署ですよ。それと本多の公民館ですか。あれも、元は北多摩自治会館だったんでしよう。そうすると国分寺は北多摩の中心ということだったんですね。いまや影が薄くなっています。

須田君若しどうしても発展に阻害が多いなら人口制限して、昔の北多摩国分寺町にでもは緑が多く、自動車も少なく、人々がみんなのんびりしていて、これは稀少価値です。一五、六年前までは、国鉄で一〇〇円ハイキ

キングと、本を出していきまして、その中で都心から国分寺駅で下車し、恋ヶ窪から国分寺の史跡を見て、今の元町通りを小金井の弁天様、自然園を通って小金井から都心に帰るというのがあります。私の家はその沿道に当たりますので、家の前はハイキングコースだと自慢したものでしたが、今では買物にもおちおち歩けません。

堀田君八王子市は市条令で建物とそれに附属する立木まで定めており、それに違反すると水道など許可をしてくれません。

谷田君やはり、それよりも前向きに発展させる方を考えなくては。今となってはどうにもならないでしょう。

村山君何か、こう話してみると、何か手があっても市民の協力があればということですが私たちが折角住んだ町ですから、もっと良い自慢の出来る町にしたいですね。

須田君もっと話したいのですが、テーマも一杯ですし、それに当店自慢の「うどんスキ」が待っていますから、この辺で、これからのいろいろなテーマで座談会を持って、良い町良い市民造りの助けになればと思います。有難うございました。

多摩中央信用金庫よりの資料
住民の買物動向と商店街の現況
多摩の中小工業
多摩中小企業景況速報
多摩のあゆみ(季刊)
は保管しております。ご希望の方には無料でお譲りします。申し込みは広報部・須田まで



木母寺について
(天台宗隅田川旧跡梅若塚)

若月 啓功

謡曲「隅田川」に出てくる梅若丸に由来する梅柳山木母寺は、東京都江東防犯拠点白鬚東地区に、第一号として、去る一月再建された。平安時代の伝説による、京の貴族の子、梅若丸が葬られている古塚が梅若塚であり、その塚の傍に梅若寺が、いつの頃からか建てられていた。慶長十二年(一六〇七)に、梅若塚に詣でた前関白近衛信尹公が梅若の梅の字を「木母」と分けて寺号とする様に計って、現在の木母寺と改められたとの事である。檀家を持たず、一般庶民の梅若信仰、或いは文芸「隅田川」の愛好者達の、又、太田道灌が、塚を修築したとか、徳川家康が、山号「梅柳山」を制定したとも伝えられる様に、徳川幕府の被護の下に支えられて来た寺である。時は移り、明治の廃仏棄釈により、一旦は梅若神社とされ、後年再び、寺や多くの人達の嘆願が入れられて、仏寺に復帰し、大正の関東大震災では、建物が傾き、修復されたが、昭和の第二次世界大戦での東京大空襲では、一部を除き殆んど建物を焼失してしまった。戦後の混乱期を経て、昭和四三年、東京都首都整備局が公表した白鬚東地区市街地再開発事業計画に依り、当寺が、危く抹殺されそうになったのだが、住民運動と、御住職の非常な努力により、附近にある隅田川神社と共に、此の計画区域の中に、配置される事になった。そして旧境内より百数十米離れた隅田川沿いの現在地に、新しい木母寺が建てられる事になったのである。一〇世紀頃に取り、その長い波乱に富んだ運命を持つ木母寺が、二〇世紀も終ろうとしている時に、首都東京の再生を計る大計画の中の、第一の実施地区に指定され、他の建物に先掛けて、完成したのも、何かの因縁かと思われる。

昭和四九年初夏、縁あって、此の寺院の設計を依頼された。移転先の土地は、曾って「梅若塚」と称された運河を埋立てた場所、防災拠点の中心部に位置した、六〇〇坪程の広さであった。此の敷地面積を、寺院としては、不足気味なので、建物は、各要素を集約的に纏めて、土地の高度利用を計る事を考えた為、従来の寺院建築とは全く異った、鉄筋コンクリート造りのコンパクトな形態となった。既ち、本堂、客殿、寺務所、庫裏、資料室、収蔵庫(多数の寺宝を展示・収納)、多目的ホール等を、二階建の一種に収めた。此の二〇〇坪程の水平線を強調した建物に対し、垂直方向の造形を対比させた納骨堂を配した。此の納骨堂は、一寸変って居り、四層から成り、墓所の象徴である相輪を頂部に設けた鉄筋コンクリート造りである。一階が礼拝堂で、三階、四階が、納骨堂となっている。更に、礼拝室の真西の壁には、西方浄土を望むステンドグラスを嵌込むと言う、斬新なデザインとなっている。それと、旧境内にあった木造の梅若堂を移設し、これをすっぽり覆う鉄骨造の鞘堂が建てられた。その他に、旧境内より、重さ八〇トン、高さ四米近い「天下之糸平」碑(伊藤博文筆)を始め、各々日付きの大小三〇基に及ぶ石碑が移転される。こうして新しく生れ変わった木母寺は、防災拠点の新しい住民と、拠点外の既存の住民との架橋としての新たな任務を、果たして行く事と思う。当寺は毎年四月一五日に梅若忌の法要を行い、謡曲関係者及び各界の人達が訪れる。

昭和51年度収支報告

収 入		支 出	
51. 4. 1	前期繰越 48,756	51. 5. 29	總會食事代他 93,250
5. 29	總會費・年会費 131,000	9. 17	会報5号印刷費 50,000
9. 13	利息 345	11. 25	忘年会ハガキ代 14,000
12. 13	忘年会費 } 180,600	"	同上印刷費 10,000
	オークション }	12. 13	忘年会食事代他 159,330
52. 3. 19	利息 126	12. 31	会報4号末払分 25,000
	サロン食事残金 3,050		繰越 12,297
	収入計 363,877		支出計 363,877

年間、校友会としての必要経費は概算してハガキ及会報等発送費 五〇、〇〇〇印刷費(会報・ハガキ他) 一〇〇、〇〇〇が予想されます。

今回、年会費を一、五〇〇円といたしました。最低一〇〇名の会費払込みがありませんと運営が赤字になります。目下のところ、学校、本部及び他地区校友会との交流等に關する費用は幹事自弁ということですし、印刷

費等も、須田氏、箱君氏を通じて実費以下の奉仕をしてもらっています。会員は約三五〇名ですから、是非とも年会費お払込み頂きまして、余裕ある運営、延いては有意義な企画の基金となるようお願いすると共に、会員皆々様の活発な意見交換の場といたしたいと存じます。

お払込みは

振替口座 口座番号・東京一八八七五五・早大分寺校友会。または第一勧銀国分寺支店普通預金・早大分寺校友会か多摩中央信用金庫・早大分寺校友会・普通預金にお願いたします。

会 員 消 促

☆梅田幹事長、日中交友医療訪中団の一員として、二月二八日、渡中、北京、石家庄、武漢、上海を歴訪、ご専門の中国医療について、種々意見交換、研究を進められ、三月一日帰京されました。目下は訪中報告講演会に忙殺されています。

☆天野ヨシ子さん(S28・教)三鷹二中で社会科を受持たれていらっしゃいますが、四月の休みに、シベリアを旅行なさいました。天野さんは活きた学問をと心掛けて、年に二、三回は外国旅行に出掛けられます。四月の金曜サロンには、お土産の煙草とお酒をご馳走になり、出席者一同ホク／＼でした。いつかは、フランスのブドウ酒やドイツのビール、オーストリアの牛などもご馳走になれること楽しみにしています。

☆滝口浩生さん(S32・土木)が今度八王子へ転居されます。滝口さんは企画部幹事として校友会の親睦のため努力して下さいました。ご転居の東京所長としてお忙しい中

ををいろ／＼と無理をきいて頂きました。これからの活躍を期待致します。本当に有難うございました。

☆早稲田学報・一九七七・一月号に細谷道子さん(S50・教)国分寺市教育委員会が「新東京案内」として「国分寺かいわい」を載せておられます。歴史の町国分寺を中心に纏められており、彼女の御父君(細谷忠至氏・S16英)ともども伝統ある母校の伝統的卒業生として活躍しておられます。

未だご覧にならぬ方で、早稲田学報がお手元のない方はお申し込み下さい。お貸し致します。

校友会・金曜日サロンは毎月の第三金曜日にパークレインの一角を借りて開催しております。時間は午後七、〇からで、食事をするが、会の運営その他雑談をいたしますが、別に、食事を一緒にするのが目的ではありませんので、お夕食後の一刻、お時間のある方は是非ご参加下さい。

以前は国分寺在住以外の方を講師に招いてお話を聞きましたが、それぞれのご専門の方もお話を聞けて非常に有意義だと毎回出席者も増えております。是非、ぶらりとお出掛け下さい。

あ と が き

◎校友会が発足して五年目を迎えました。会報の方は四九年九月に第一号を出して二年半目と少々、会報は原稿によって発行されるの目と少々、充実した、読みでのあるものを心掛けております。難波田春夫先生、吉村正先生の講演の時は比較的楽でしたが、その他は皆様にお願ひして廻っております。その都度、ご

理をお願いして、快く引受けてお忙しい中で原稿を下さるのが村山公三顧問です。村山顧問は前東洋経済新報社の社長として、流通経済の面では、マクロにもミクロにも精通せられ、昭和七年の商学部出身、けやき台団地にお住いですが、金曜サロンには必ずおいで頂いて、経済分析の良き相談役として、お世話になっております。まして、夜おそくなると本当に西の端から、交通の便の悪いところを、私達のために足を運んで頂いております。

◎第一回の座談会として、国分寺わが町(1)を載せました。校友会としましては、出来るだけ多くの方々の参加を希望しておりますので、学校に關すること、町に關すること等々活発なご意見をお待ちしております。但し、政党や個人の利益に關することに對しましては厳重に監視して、公正なご意見のみを採用させて頂きます。会報も、原稿の集りました状況により、総務、会計とも計りまして、年に二回でも、三回でも発行したいと思っております。また、広報の発行に關しまして、ご意見、ご希望などありましたら忌憚なくお聞かせ下さい。(須田)

早稲田大学国分寺校友会・会報 第6号

昭和五二年五月一日 発行

発行 早稲田大学国分寺校友会

東京都国分寺市東元町1-38-24

電話 〇四二三(二三)三八八四

編集 早稲田大学国分寺校友会広報部

印刷 東盛社

東京都武蔵野市吉祥寺本町